

授業科目名(担当者 長田哲)	単位数	学習形態
学童保育実習	1単位(40時間)	実習

授業のテーマ

学童(児童クラブ)で児童と活動を共にすること、また学童職員の職務を間近で見て学ぶ。
小学校教員を目指す学生にとって貴重な経験になる実習である。

授業の概要

希望する学童(児童クラブ)で保育実習を行う。実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする。

授業計画

学童(児童クラブ)の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の学童と事前にオリエンテーションを行い、実習先の学童の概要を知る

保育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

学童職員の配慮事項を知り、職務について理解を深める

保育実習を行う

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

参考書・参考資料

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

学生に対する評価

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 長田哲)	単位数	学習形態
学童保育実習	1単位(40時間)	実習

授業のテーマ

学童(児童クラブ)で児童と活動を共にすること、また学童職員の職務を間近で見学。小学校教員を目指す学生にとって貴重な経験になる実習である。

授業の概要

希望する学童(児童クラブ)で保育実習を行う。実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする。

授業計画

学童(児童クラブ)の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の学童と事前にオリエンテーションを行い、実習先の学童の概要を知る

保育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

学童職員の配慮事項を知り、職務について理解を深める

保育実習を行う

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

参考書・参考資料

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

学生に対する評価

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 初鹿野修)	単位数	学習形態
教育フィールド研究	2単位(30時間)	講義・ゲストティーチャー

授業のテーマ

小学校教員の魅力を、小学校現場以外の活躍の場があることを知ることで、進化・深化させることができるようにする。

授業の概要

教職実践演習と連携づけて、様々な小学校教員の携わるフィールドを知ること及び実際の担当者からの講話を受けることで、小学校教員の奥深さを知り、夢を抱くことができるようにする。

授業計画

- 1～2・自己紹介・授業オリエンテーション・様々なフィールドのプレゼンテーション
- 3～4・学校内での教科指導以外のフィールド(特活・クラブ・部活・・・)・学校外のフィールド
(教委の指導主事・県の施設への出向)
- 5～6・学校内の業務・職務分担①(教務主任・教頭の職務)
- 7～8・学校内の職務分担②(校長の職務)
- 9～10・学校内の職務分担③(研究主任・学年主任等の職務)
- 11～12・教育委員会での業務①(指導主事という職務)
- 13～14・教育委員会での業務②(課長・部長・教育長の職務)
- 15 前期のまとめレポート①(こんな教師になりたい)
- 16～17・僻地教育(離島・僻地での複式・複複式・渡りの授業)
- 18～19・低学年での学び合いの授業①
- 20～21・中学年での学び合いの授業②
- 22～23・高学年での学び合いの授業③
- 24～25・特別支援学級の授業
- 26～27・通級指導学級の授業
- 28～29・在外教育施設での教育(在外派遣としての職務・日本人学校・補習校での職務)
- 30 後期のまとめレポート②(続こんな教師になりたい)

参考書・参考資料

講師作成の資料

学生に対する評価

レポート及び授業態度と出席率

授業科目名(担当者 乾 芳壽)	単位数(授業時数)	学習形態
教育原理 3・4年	3単位(45時間)	講義

授業のテーマ

教育の思想とその作用、また我が国の教育制度・理念・歴史・について学ぶことにより、教育の課題、教育の方向性についての理解を深める。併せて学校教育に関する社会的、制度的事項を理解し、地域との連携、学校安全、職に関する指導等の理解を深める。

授業の概要

教育の基本的概念、理念、歴史、及び思想について学ぶことにより、どのように教育及び学校が営まれ、変遷してきたかを理解する。また、現代の学校教育に関する社会的、制度的な仕組みを通して、学校と地域との連携、学校安全、食に関する指導の意義を理解する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 教授・学習理論
3. 教育課程
4. 学習指導要領①(幼稚園教育要領と学習指導要領)
5. 学習指導要領②(小・中学校学習指導要領総則について その1)
6. 学習指導要領③(小・中学校学習指導要領総則について その2)
7. 学習指導要領④(小・中学校学習指導要領 高等学校学習指導との関連)
8. 学習指導要領④(小学校学習指導要領の変遷)
9. 学習指導要領④(小・中学校学習指導要領と関係規定)
10. 道徳教育
11. 外国語活動
12. 総合的な学習の時間
13. 特別活動
14. 学習指導
15. 学力調査
16. 沖縄県の学力
17. 生徒指導①(生徒指導提要について)
18. 生徒指導②(教育課題について)
19. 問題行動①(現状について)
20. 問題行動②(指導について)
21. 特別支援教育
22. 特別支援教育制度
23. 特別支援学校学習指導要領
24. 発達障害
25. 同和教育
26. 人権教育
27. 社会教育
28. キャリア教育
29. 情操教育
30. 安全教育
31. 健康教育
32. 保健指導
33. 食に関する指導

34. 教育における今日的指導①(教育基本法等について)
35. 教育における今日的指導②(アクティブラーニングについて)
36. 教育における今日的指導③(地域との連携)
37. 教育における今日的指導④(関係機関との連携)
38. 教育における今日的指導⑤(子どもの権利条約と環境)
39. 教育における今日的指導⑥(教育機関が抱える課題)
40. 模擬試験1
41. 模擬試験2
42. 模擬試験解説1
43. 模擬試験解説2
44. 模擬試験解説3
45. まとめ

テキスト
特になし

参考書・参考資料

田中亨胤『教育原理』(豊岡教育大学通信教育学部)
『小学校学習指導要領』同 解説』(東洋館出版社)
『生徒指導提要』(教育図書)
その他

学生に対する評価

学習状況の確認:レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価:科目試験により評価

授業科目名(担当 長田哲)	単位数	学習形態(方法)
教育法規	2単位 (30時間)	講義・問題演習

授業のテーマ

教育法規は教育に関する多様な法の体系、日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、教育公務員特例法等を指している。教育に関わる法的な問題は、全てこれらの法令により処理されている。本授業では、教育法規を学ぶ上で必要となる最低限の法的知識について、また学校教育に関わる必要最低限の教育法規に絞って、その骨格と特徴について理解する。

授業の概要

教育に関する法規を理解できるようにする。法令の読み方、法源と法体系、法律用語の基礎知識を確認し、各教育法規の条文・内容を解説する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 法令の読み方
3. 法源と法体系
4. 法律用語の基礎知識
5. 日本国憲法
- 6・7. 教育基本法
8. 教育を受ける権利
9. 義務教育
10. 教育の中立性
11. 学校とは
12. 各学校の目的・目標
13. 学校の設備
14. 学級の編成
15. 教育活動の日程
16. 学校保健
17. 教科書・著作権
18. 開かれた学校運営
19. こどもの就学、就学に関する業務
20. 懲戒
21. 健康診断と感染症予防
22. 指導要録と出席管理
23. 児童・生徒の保護
24. 児童憲章、児童の権利に関する条約
25. 教職員の配置・職務・任用
26. 教員免許状
27. 教員研修
28. 教員の服務・処分・勤務規則
29. 教育委員会
30. まとめ

テキスト

『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』舞田敏彦著 実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』東京アカデミー編 七賢出版

参考書・参考資料

『図解・表解 教育法規』坂田仰 黒川雅子 河内祥子 山田知代著 教育開発研究所

学生に対する評価・基準

学習状況の確認: レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価: 科目試験により評価

授業科目名 (授業者 乾芳壽・長田 哲)	単位数(授業時数)	学習形態(方法)
教採国語	4単位(60時間)	講義、演習

授業のテーマ(到達目標を含む)

- ・沖縄県小学校教員採用試験「国語科」に対する試験対策を行う。
- ・講義、演習を通して、教員採用試験の国語科の出題を解答する力をつける。

授業の概要(内容)

- ・国語科の基礎学力を身に付ける。
- ・実力テストの時間に教員採用試験過去問題を解答する。

授業計画

- 1 二字熟語の読みの練習
- 2 熟字訓の練習
- 3 三字熟語の練習
- 4 古典・宗教・動植物の漢字の練習
- 5 類義語
- 6 対義語
- 7 四字熟語
- 8 小説文・説明文の読解練習1
- 9 実力テスト1
- 10 頻出二字熟語の書き取り練習
- 11 同音異字の書き取り練習
- 12 同訓異字の書き取り練習
- 13 間違えやすい漢字書き取り練習
- 14 ことわざ①
- 15 故事成語①
- 16 慣用句①
- 17 小説文・説明文の読解練習2
- 18 実力テスト2
- 19 ことわざ②
- 20 故事成語②
- 21 慣用句②
- 22 現代文法(品詞の分類① 体言)
- 23 同 (品詞の分類② 用言)
- 24 同 (品詞の分類③自立語と付属語)
- 25 同 (品詞の分類④品詞の見分け方)
- 26 小説文・説明文の読解練習3
- 27 実力テスト3
- 28 俳句
- 29 短歌
- 30 詩
- 31 文学史①(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)
- 32 文学史②(中世と近世の文章)
- 33 漢文の基本
- 34 漢詩①(漢詩の基本)

- 35 小説文・説明文の読解練習4
- 36 実力テスト4
- 37 漢詩②(唐詩)
- 38 漢詩③(唐代以降の詩)
- 39 古文①(枕草子)
- 40 古文②(平家物語)
- 41 古文③(徒然草)
- 42 古文④(奥の細道)
- 43 漢文と古文の融合問題
- 44 小説文・説明文の読解練習5
- 45 実力テスト5
- 46 近現代の文学と沖縄県過去問題①
- 47 同 ②
- 48 同 ③
- 49 説明文と沖縄県過去問題①
- 50 同 ②
- 51 同 ③
- 52 国語の模擬試験①
- 53 小説文・説明文の読解練習6
- 54 実力テスト6
- 55 沖縄県国語問題過去問題①
- 56 同 ②
- 57 同 ③
- 58 国語の模擬試験②
- 59 小説文・説明文の読解練習7
- 60 小説文・説明文のまとめ

テキスト

- ・東京アカデミー編『教員採用試験対策』
- ・沖縄県教員採用試験過去問題集
- ・講師作成資料

参考書・参考資料

- ・学習指導要領国語科解説

学生に対する評価・基準

- ・学習意欲、授業態度に基づき評価する。
- ・定期的模擬試験、実力試験(講師作成)の結果に拠り評価する。

授業科目名(授業舎 美里 勉)	単位数(授業時数)	学習形態(方法)
教採算数(後期)	4 単位 (60 時間)	講義、演習

授業のテーマ(到達目標を含む)

- ・沖縄県小学校教員採用試験「算数科」に対する受験対策を行う。
- ・講義、演習を通して、教員採用試験の算数、数学の出題を解答する力をつける。

授業の概要(内容)

- ・算数・数学の基礎学力を身に付ける。
- ・問題解答の攻略を図る基本的ストラテジーを整理する。

授業計画

- 1 計算と文字式(四則計算 正負の計算]
- 2 同 (小数、分数の計算)
- 3 同 (文字と式、式の展開)
- 4 同 (因数分解)
- 5 同 (四則計算 正負の計算、小数、分数の計算の練習問題)
- 6 同 (文字と式、式の展開、因数分解の練習問題)
- 7 同 (沖縄県採用試験に出題された「計算と文字式」の類似問題)
- 8 同 (同上)
- 9 実力テスト1回目
- 10 数の性質 (倍数、約数、素数、素因数分解)
- 11 同 (公倍数・公約数と倍数の文章題 1)
- 12 同 (公倍数・公約数と倍数の文章題 2)
- 13 同 (数列)
- 14 同 (倍数、約数、素数、素因数分解の練習問題)
- 15 同 (倍数、約数、素数、素因数分解、数列の練習問題)
- 16 同 (公倍数・公約数と倍数の練習問題)
- 17 同 (沖縄県採用試験に出題された「数の性質」の類似問題)
- 18 実力テスト2回目
- 19 文章題の基礎(1次方程式の解き方)
- 20 同 (1次方程式の文章題1)
- 21 同 (割合、連立方程式の文章題2)
- 22 同 (の文章題)
- 23 同 (文章題の練習問題1)
- 24 同 (文章題の練習問題2)
- 25 同 (文章題の練習問題3)
- 26 同 (沖縄県採用試験に出題された「文章題の基礎」の類似問題)
- 27 実力テスト3回目
- 28 文章題 (利益)
- 29 同 (濃度)
- 30 同 (速さ)
- 31 同 (場合の数と確率)
- 32 同 (利益、濃度の練習問題)
- 33 同 (速さの練習問題)
- 34 同 (場合の数と確率の練習問題)

- 35 同 (沖縄県採用試験に出題された「文章題」の類似問題)
- 36 実力テスト4回目
- 37 図形1 (角度、多角形の内角・外角)
- 38 同 (三角形の性質、四角形の性質)
- 39 同 (多角形の面積)
- 40 同 (円と扇形・円周角・接弦定理)
- 41 同 (角度、多角形の内角・外角・三角形の性質、四角形の性質の練習問題)
- 42 同 (三角形等のf練習問題)
- 43 同 (円と扇形・円周角・接弦定理の練習問題)
- 44 同 (沖縄県採用試験に出題された「図形1」の類似問題)
- 45 実力テスト4回目
- 46 図形2 (立体図形・体積)
- 47 同 (合同・相似・相似比)
- 48 同 (三平方の定理1)
- 49 同 (三平方の定理2)
- 50 同 (立体図形・体積、合同・相似・相似比の練習問題)
- 51 同 (三平方の定理1の練習問題)
- 52 同 (三平方の定理2の練習問題)
- 53 同 (沖縄県採用試験に出題された「図形2」の類似問題)
- 54 実力テスト5回目
- 55 関数とグラフ(2次方程式の解き方)
- 56 同 (解の公式)
- 57 同 (1次関数・2次関数)
- 58 同 (グラフと領域)
- 59 同 (沖縄県採用試験に出題された「関数とグラフ」の類似問題)
- 60 模擬試験

テキスト

- ・東京アカデミー版 教員採用過去問題集
- ・協同出版 教員採用過去問題集

参考書・参考資料

- ・誠伸社版 沖縄県統一プレ入試問題

学生に対する評価・基準

- ・学習意欲、授業態度、問題解決能力に基づき評価する。
- ・定期的模擬試験、実力試験(講師作成)の結果に拠り評価する。

教科名(授業者 美里 勉)	単位数(授業時数)	学習形態(方法)
教採算数2	4単位 (70時間)	講義、演習

授業のテーマ(到達目標を含む)

- ・沖縄県小学校教員採用試験「算数科」に対する試験対策を行う。
- ・講義、演習を通して、教員採用試験の算数、数学の出題を解答する力をつける。

授業の概要(内容)

- ・教員採用試験において必要となる部分に焦点をあて解答する。
- ・問題解答の攻略を図る基本的ストラテジーを整理する。

授業計画

- 1 シラバス、授業計画、ノートの整理の仕方等基本の説明
- 2 「関数とグラフ」の基本練習問題
- 3 「関数とグラフ」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 4 同 上 2
- 5 同 上 3
- 6 同 上 4
- 7 「関数とグラフ」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 8 同 上 2
- 9 実力テスト1
- 10 「計算と文字式」の基本練習問題1
- 11 「計算と文字式」の基本練習問題2
- 12 「計算と文字式」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 13 同 上 2
- 14 同 上 3
- 15 同 上 4
- 16 「計算と文字式」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 17 同 上 2
- 18 実力テスト2
- 19 「文章題1 利益と濃度」の基本練習問題「数の性質」の基本練習問題1
- 20 「数の性質」の基本練習問題2
- 21 「数の性質」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 22 同 上 2
- 23 同 上 3
- 24 同 上 4
- 25 「数の性質」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 26 同 上 2
- 27 実力テスト3
- 28 「文章題の基礎」の基本練習問題1
- 29 「文章題の基礎」の「文章題1 利益と濃度」基本練習問題2
- 30 「文章題の基礎」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 31 同 上 2
- 32 同 上 3
- 33 同 上 4
- 34 「文章題の基礎」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1

- 35 同 上 2
- 36 実力テスト4
- 37 「文章題1 利益と濃度」の基本練習問題1
- 38 「文章題1 利益と濃度」の基本練習問題2
- 39 「文章題1 利益と濃度」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 40 同 上 2
- 41 同 上 3
- 42 同 上 4
- 43 「文章題1 利益と濃度」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 44 同 上 2
- 45 実力テスト5が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 46 「文章題2 速さと場合」の基本練習問題1
- 47 「文章題2 速さと場合」の基本練習問題2
- 48 「文章題2 速さと場合」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 49 同 上 2
- 50 同 上 3
- 51 同 上 4
- 52 「文章題2 速さと場合」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 53 同 上 2
- 54 実力テスト6
- 55 「図形」の基本練習問題1
- 56 「図形」の基本練習問題2
- 57 「図形」が出題された沖縄県教員採用試験過去問題の解法1
- 58 同 上 2
- 59 同 上 3
- 60 同 上 4
- 61 「図形」が出題された全国教員採用試験過去問題の解法1
- 62 同 上 2
- 63 実力テスト7
- 64 全国教員採用試験過去問題の解法
- 65 同 上 1
- 606 同 上 2
- 67 同 上 3
- 68 同 上 4
- 69 同 上 5
- 70 実力テスト8(模擬試験)

テキスト

- ・東京アカデミー版 教員採用試験過去問題集
- ・協同出版 教員採用過去問題集

参考書・参考資料

- ・誠伸社版 沖縄県統一プレ入試問題

学生に対する評価・基準

- ・学習意欲、授業態度、問題解決能力に基づき評価する。
- ・定期的模擬試験、実力試験(講師作成)の結果に拠り評価する。

授業科目名(授業者 乾 芳壽)	単位数(授業時数)	学習形態(方法)
教採全科Ⅰ	2単位(40時間)	講義、演習

授業のテーマ(到達目標を含む)

・教員採用試験対策として小学校全科の受検対策を行い、沖縄県教員採用試験に合格できる実力を養成することを目的とする。

授業の概要(内容)

・学習指導要領各教科の内容を理解する。
 ・全科に関係する沖縄県採用試験各教科の過去問題を解答する。また、都道府県の問題を解答する。

授業計画

- 1 国語科1(目標と内容)
- 2 同 2(指導計画の作成と内容の取扱い1)
- 3 同 3(指導計画の作成と内容の取扱い2)
- 4 同 4(実力テスト)
- 5 社会科1(目標と内容)
- 6 同 2(指導計画の作成と内容の取扱い1)
- 7 同 3(指導計画の作成と内容の取扱い2)
- 8 同 4(実力テスト)
- 9 算数科1(目標と内容)
- 10 同 2(指導計画の作成と内容の取扱い1)
- 11 同 3(指導計画の作成と内容の取扱い2)
- 12 同 4(実力テスト)
- 13 理科 1(目標と内容)
- 14 同 2(各学年の内容と系列)
- 15 同 3(指導計画の作成と内容の取扱い)
- 16 同 4(実力テスト)
- 17 生活科 1(目標と9つの内容)
- 18 同 2(学年の目標と構成、指導計画の作成と内容の取扱い)
- 19 同 3(実力テスト)
- 20 模擬テスト
- 21 音楽科1(目標と内容)
- 22 同 2(低・中・高学年の内容)
- 23 同 3(内容の取扱い)
- 24 同 4(実力テスト)
- 25 図画工作1(目標と内容)
- 26 同 2(内容 表現と鑑賞)
- 27 同 3(指導計画の作成と内容の取扱い)
- 28 同 4(実力テスト)
- 29 家庭科1(目標と内容)
- 30 同 2(3つの内容)
- 31 同 3(指導計画の作成と配慮事項)
- 32 同 4(実力テスト)
- 33 体育科1(目標と内容)
- 34 同 2(指導計画の作成と内容の取扱い)
- 35 同 3(体育科の内容構成)
- 36 同 4(実力テスト)
- 37 外国語科1(外国語の目標と内容)
- 38 同 2(指導計画の作成と内容の取扱い)
- 39 同 3(実力テスト)
- 40 模擬テスト

テキスト

- ・学習指導要領(全教科解説)
- ・沖縄県教員採用試験問題

参考書・参考資料

- ・『小学校全科 らくらくマスター』実務教育出版
- ・東京アカデミー編『教員採用試験対策』

学生に対する評価・基準

- ・授業態度、学習意欲、講師作成実力テストの成績、模擬試験の成績を総合的に判断する。

授業科目名(担当者 乾 芳壽)	単位数	学習形態
日本教育史	1 単位 (1 5 時間)	講義

授業のテーマ

現在の教育が世界をはじめ我が国のこれまでの教育の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考える見方や方法を概観する。とくに本授業は、日本の教育史を通して、現代日本の教育について歴史的に考察する力を養う。

授業の概要

政治や経済の影響を受けながら教育は独自の領域を歴史に刻んでいる。各時代における教育の役割と機能を明らかにしつつ、現在の教育を見直す試みを行う。我が国の教育について通史的な理解を深める。日本教育の歩みを通して現在の教育を考察する。

授業計画

1. 古代・中世の教育
2. 近世の教育と寺子屋
3. 私塾の教育家たち①
4. 私塾の教育家たち②
5. 近代の教育と福沢諭吉
6. 教育勅語の思想系譜
7. 大正新教育①.
8. 大正新教育②
9. 大正新教育③
10. 戦前から戦後へ
11. 幼稚園の成立と普及、発展
12. 保育制度改革
13. 保育要領と幼稚園教育要領
14. ジェンダーと女子教育
15. 日本教育史の視点

テキスト

今井康雄『教育思想史』有斐閣

参考書・参考資料

教育史参考文献(その都度印刷して提供)

学生に対する評価

学習状況の確認: レポート課題において思考表現により評価する。

科目の成績評価: 科目試験の成績により判定し評価する。

授業科目名 (担当者 長嶺将範)	単位数	学習形態
理科	1 単位 (2 2 時間)	講義・問題演習

授業のテーマ

理科の不思議や科学の面白さ、大切さを児童に伝えるために、基礎的知識を身につける。

授業の概要

小学校で理科を指導する上で必要な専門知識を養成するために、小学校及び中学校理科の各分野の解説並びに問題に取り組むことにより基礎的知識を身につける。

○理科各分野の解説

○理科各分野の問題

授業計画

3	音
4	仕事
5	エネルギー
6	電流と電圧
7	電流と発熱
8	電流と磁界
9	物質の状態と溶液
10	気体
11	化学変化

14	生物の観察と細胞
15	植物のつくり
16	光合成と植物の分類
17	身近な動物
18	ヒトのからだ
19	天気
20	太陽と星座、月と惑星
21	地層と化石
22	地震

テキスト

「小学校学習指導要領理科解説」

参考書・参考資料

「理科便覧」「教員採用試験対策」

学生に対する評価

学習状況の確認：出席状況、授業態度、各分野の理解度(質問に対する反応、問題に対する正解)

理科の評価：日々の学習状況とまとめの問題

授業科目名(担当者 乾 芳壽)	単位数	学習形態
日本教育史	1 単位 (1 5 時間)	講義

授業のテーマ

現在の教育が世界をはじめ我が国のこれまでの教育の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考える見方や方法を概観する。とくに本授業は、日本の教育史を通して、現代日本の教育について歴史的に考察する力を養う。

授業の概要

政治や経済の影響を受けながら教育は独自の領域を歴史に刻んでいる。各時代における教育の役割と機能を明らかにしつつ、現在の教育を見直す試みを行う。我が国の教育について通史的な理解を深める。日本教育の歩みを通して現在の教育を考察する。

授業計画

1. 古代・中世の教育
2. 近世の教育と寺子屋
3. 私塾の教育家たち①
4. 私塾の教育家たち②
5. 近代の教育と福沢諭吉
6. 教育勅語の思想系譜
7. 大正新教育①.
8. 大正新教育②
9. 大正新教育③
10. 戦前から戦後へ
11. 幼稚園の成立と普及、発展
12. 保育制度改革
13. 保育要領と幼稚園教育要領
14. ジェンダーと女子教育
15. 日本教育史の視点

テキスト

今井康雄『教育思想史』有斐閣

参考書・参考資料

教育史参考文献(その都度印刷して提供)

学生に対する評価

学習状況の確認: レポート課題において思考表現により評価する。

科目の成績評価: 科目試験の成績により判定し評価する。

授業科目名 (担当者 長嶺将範)	単位数	学習形態
理科	1 単位 (2 2 時間)	講義・問題演習

授業のテーマ

理科の不思議や科学の面白さ、大切さを児童に伝えるために、基礎的知識を身につける。

授業の概要

小学校で理科を指導する上で必要な専門知識を養成するために、小学校及び中学校理科の各分野の解説並びに問題に取り組むことにより基礎的知識を身につける。

○理科各分野の解説

○理科各分野の問題

授業計画

3	音
4	仕事
5	エネルギー
6	電流と電圧
7	電流と発熱
8	電流と磁界
9	物質の状態と溶液
10	気体
11	化学変化

14	生物の観察と細胞
15	植物のつくり
16	光合成と植物の分類
17	身近な動物
18	ヒトのからだ
19	天気
20	太陽と星座、月と惑星
21	地層と化石
22	地震

テキスト

「小学校学習指導要領理科解説」

参考書・参考資料

「理科便覧」「教員採用試験対策」

学生に対する評価

学習状況の確認：出席状況、授業態度、各分野の理解度(質問に対する反応、問題に対する正解)

理科の評価：日々の学習状況とまとめの問題

授業科目名(担当 長田哲)	単位数	学習形態(方法)
論作文	1 単位 (15 時間)	講義、演習

授業のテーマ(到達目標を含む)

論作文は教員として求められている資質や能力が備わっているかどうか判断する上で、重要なものの一つである。論作文において、与えられた課題についての認識の深さ、課題解決力や指導力、論理的思考力、文章表現力、教育に対する情熱や愛情、教師としての使命感や意欲、人間性などをみることができる。これらはいずれも教員としての職務をよりよく遂行し、今日的な学校教育の様々な課題を解決していくうえで欠かすことのできない大切な資質や能力である。

授業の概要(内容)

筋道の通った良い論作文を書くため、文章の修練を重ね表現力を高める。より良い論作文の書き方を身に付け、論理的で、教育への使命感やこどもへの愛情がにじみ出た筋道の通った論作文を書けるよう、学習していく。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 論作文の基礎・基本
3. 論作文のテーマ分類
4. 論作文の課題例
5. 論作文の型、キーワード等
6. 序論の作成
7. 柱と論例策の作成
8. 添削後の指導・アドバイス
9. 論作文例を読み解く
10. 添削後の指導・アドバイス
11. 論作文例との比較
12. 添削後の指導・アドバイス
13. 論作文作成
14. 添削後の指導・アドバイス
15. まとめ

テキスト

特になし

参考書・参考資料

『教員採用試験 αシリーズ 教育論作文』沖山吉和 一ツ橋書店
必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価・基準

授業態度、学習意欲、論作文、添削後の再論文等を総合的に判断する。

授業科目名(授業者 乾 芳壽)	単位数(授業時数)	学習形態
世界教育史	1 単位 (15 時間)	講義

授業のテーマ

現在の教育が世界をはじめ我が国のこれまでの教育の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考える見方や方法を概観する。とくに本授業は、西洋の教育史を通して、現代日本の教育について歴史的に考察する力を養う。

授業の概要

政治や経済の影響を受けながら教育は独自の領域を歴史に刻んでいる。各時代における教育の役割と機能を明らかにしつつ、現在の教育を見直す試みを行う。西洋の教育について通史的な理解を深める。とくに近代日本の教育がヨーロッパやアメリカの教育に多大な影響を与えられていることを明らかにして現在の教育を考察する。

授業計画

1. 古代ギリシアとローマの教育
2. 中世の教育
3. コメニウスの教育
4. ロックとコンドルセの教育
5. ルソーの教育
6. ペスタロッチの教育
7. 幼稚園の創設者フレーベルの教育
8. 国民教育の思想家ヘルバルトの教育
9. 産業革命とオーエンの教育
10. 科学的教育方法とモンテッソーリ
11. 民主主義の教育思想とデューイ
12. シュタイナーの教育
13. 精神科学的教育学の教育者たち
14. 新教育以後の教育思想家たち
15. イヴァン・伊利チの教育論

テキスト

今井康雄『教育思想史』有斐閣
山崎英則『西洋の教育の通史』ミネルヴァ書房

参考書・参考資料

教育史参考文献(その都度印刷して提供)

学生に対する評価

学習状況の確認: レポート課題において思考表現により評価する。
科目の成績評価: 科目試験の成績により判定し評価する。

授業科目名(担当 長田哲)	単位数	学習形態(方法)
野外活動実践演習	3単位 (90時間)	演習

授業のテーマ

現代の子どもたちには、自然体験、集団活動、直接体験が不足していることが危惧されている。文部科学省は青少年への自然体験活動の更なる充実を方針化している。そのため、これからの小学校教員には、子どもたちの自然体験活動を企画、運営、支援・指導する能力がより求められる。

授業の概要

自然体験活動やレクリエーション活動の基礎を学ぶとともに、演習を通して直接体験し、小学校教員・幼稚園教員・保育士となった際に子どもたちの体験活動を支援・指導できる素地を養う。また、たくましさ・自主自立・協力する心・自然を愛する心を養う。

授業計画

1. オリエンテーション(内容、評価等に関する説明)
- 2-6. スケジュール・プログラム作成
- 7-11. 青少年の家での打ち合わせ・実地踏査
- 12-16. しおり作成
- 17-21. 活動班編成
- 22-26. テント班編成
- 27-31. 青少年の家との調整・連絡
- 32-36. 持ち物表作成
- 37-41. 申込書類作成
- 42-46. 青少年の家での打ち合わせ
- 47-51. しおり作成
52. 参加学生(1年生)への説明会
- 53-54. 買い出し
- 55-59. しおり作成
- 60-64. 最終確認(模擬演習)
- 65-86. 青少年の家での実践演習
87. 振り返り
- 88-90. 新聞作成

テキスト

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』

参考書・参考資料

前年度までのしおり、申込書等の書類や写真、ビデオなど

学生に対する評価・基準

授業態度、意欲、企画・運営、書類作成、準備、打ち合わせ、模擬演習、実践演習、新聞作成等を総合的に判断する。

授業科目名(担当 長田哲)	単位数	学習形態(方法)
図画工作	1単位 (15時間)	講義・問題演習

授業のテーマ

造形の基礎・基本、表現技法の在り方などを学ぶ。また、こどもの絵の表現の発達の道筋をたどりながら、児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、こどもが楽しく造形活動ができる教材の在り方、支援の仕方、指導の在り方について考えに入れる。

授業の概要

こどもの造形表現や発達をイメージしながら、造形の基礎・基本が身につく、実際の図画工作指導に役立つ内容を展開する。透視図法の種類、児童の造形能力の発達段階、色彩学に関する基礎事項、モダンテクニック、小学校段階で使用する用具や製作の手順、安全面での配慮事項、日本美術、西洋美術などについて理解する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 小学校「図画工作」の教材・指導
3. 発達段階と表現の変遷
4. 絵画
5. モダンテクニック・オートマティズム
6. 色彩
7. デザイン
8. 版画
9. 彫刻・焼き物
10. 木工芸
11. 用具の取扱い
12. 日本美術
13. 西洋美術
14. こどもの造形表現の鑑賞
15. まとめ

テキスト

『教員採用試験 小学校全科らくらくマスター』舞田敏彦著 実務教育出版

『教員採用試験対策 参考書 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版

『教員採用試験対策 問題集 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版

参考書・参考資料

必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価・基準

学習状況の確認: レポート課題において理解、思考表現により判定

科目の成績評価: 科目試験により評価

授業科目名(担当 長田哲)	単位数	学習形態(方法)
図画工作	1単位 (15時間)	講義・問題演習

授業のテーマ

造形の基礎・基本、表現技法の在り方などを学ぶ。また、こどもの絵の表現の発達の道筋をたどりながら、児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、こどもが楽しく造形活動ができる教材の在り方、支援の仕方、指導の在り方について考えに入れる。

授業の概要

こどもの造形表現や発達をイメージしながら、造形の基礎・基本が身につく、実際の図画工作指導に役立つ内容を展開する。透視図法の種類、児童の造形能力の発達段階、色彩学に関する基礎事項、モダンテクニック、小学校段階で使用する用具や製作の手順、安全面での配慮事項、日本美術、西洋美術などについて理解する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 小学校「図画工作」の教材・指導
3. 発達段階と表現の変遷
4. 絵画
5. モダンテクニック・オートマティズム
6. 色彩
7. デザイン
8. 版画
9. 彫刻・焼き物
10. 木工芸
11. 用具の取扱い
12. 日本美術
13. 西洋美術
14. こどもの造形表現の鑑賞
15. まとめ

テキスト

『教員採用試験 小学校全科らくらくマスター』舞田敏彦著 実務教育出版

『教員採用試験対策 参考書 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版

『教員採用試験対策 問題集 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版

参考書・参考資料

必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価・基準

学習状況の確認: レポート課題において理解、思考表現により判定

科目の成績評価: 科目試験により評価

英語科合同科目シラバス：幼保英検 2 級

English Department Joint classes syllabus: Youho EIKEN Grade 2

Time and date: Friday 1:15-3:05

Course objectives:

To improve vocabulary in the childcare field.

1. To improve Reading, listening and speaking.
2. To prepare students for a career in the childcare field.
3. To improve pronunciation.

Course Description:

This Child Eiken course will prepare students for the different aspects of the child eiken test as well as for a career in childcare abroad. Students will be introduced to new vocabulary weekly and will be encouraged to memorize new words and phrases through exercises and games. Students will Strengthen both their English reading skills and conversational skills each week as they work through their textbook together as a class.

Learning program:

1. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
2. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
3. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
4. (holiday)
5. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
6. General conversation and quizzes incorporating previously learned vocabulary.
7. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
8. Making a daily Schedule for a kindergarten
9. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
10. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
11. Worksheet – Household Items Vocabulary
12. (Holiday)
13. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
14. Practice Test
15. Practice Test
16. Vocabulary Recap, conversation practice

Course Outcomes

Students will be able to:

1. Improve Eiken skills

2. Greater their vocabulary in the childcare field
3. Strengthen their comprehension and Conversational skills
4. Understand Various test situations and answer questions accordingly.

英語科合同科目シラバス：幼保英検 2 級

English Department Joint classes syllabus: Youho EIKEN Grade 2

Time and date: Friday 1:15-3:05

Course objectives:

To improve vocabulary in the childcare field.

1. To improve Reading, listening and speaking.
2. To prepare students for a career in the childcare field.
3. To improve pronunciation.

Course Description:

This Child Eiken course will prepare students for the different aspects of the child eiken test as well as for a career in childcare abroad. Students will be introduced to new vocabulary weekly and will be encouraged to memorize new words and phrases through exercises and games. Students will Strengthen both their English reading skills and conversational skills each week as they work through their textbook together as a class.

Learning program:

1. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
2. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
3. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
4. (holiday)
5. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
6. General conversation and quizzes incorporating previously learned vocabulary.
7. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
8. Making a daily Schedule for a kindergarten
9. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
10. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
11. Worksheet – Household Items Vocabulary
12. (Holiday)
13. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
14. Practice Test
15. Practice Test
16. Vocabulary Recap, conversation practice

Course Outcomes

Students will be able to:

1. Improve Eiken skills

2. Greater their vocabulary in the childcare field
3. Strengthen their comprehension and Conversational skills
4. Understand Various test situations and answer questions accordingly.

英語科合同科目シラバス：幼保英検 2 級

English Department Joint classes syllabus: Youho EIKEN Grade 2

Time and date: Friday 1:15-3:05

Course objectives:

To improve vocabulary in the childcare field.

1. To improve Reading, listening and speaking.
2. To prepare students for a career in the childcare field.
3. To improve pronunciation.

Course Description:

This Child Eiken course will prepare students for the different aspects of the child eiken test as well as for a career in childcare abroad. Students will be introduced to new vocabulary weekly and will be encouraged to memorize new words and phrases through exercises and games. Students will Strengthen both their English reading skills and conversational skills each week as they work through their textbook together as a class.

Learning program:

1. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
2. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
3. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
4. (holiday)
5. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
6. General conversation and quizzes incorporating previously learned vocabulary.
7. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
8. Making a daily Schedule for a kindergarten
9. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
10. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
11. Worksheet – Household Items Vocabulary
12. (Holiday)
13. Child Eiken textbook, Reading, Exercises and discussion
14. Practice Test
15. Practice Test
16. Vocabulary Recap, conversation practice

Course Outcomes

Students will be able to:

1. Improve Eiken skills

2. Greater their vocabulary in the childcare field
3. Strengthen their comprehension and Conversational skills
4. Understand Various test situations and answer questions accordingly.

英語科合同科目シラバス：幼保英検 3級

English Department Joint classes syllabus: Youho EIKEN Grade 3

Course Objective / Target for Achievement:

This course aims to guide the students to acquire basic English conversation with children in English tested in Youho EIKEN Test grade 3 for child English. The students will be trained to achieve the required skills of reading, listening and speaking levels of the materials in English.

Outline of class:

Each class will guide students to practice writing and speaking English supported by reading and listening training. Study materials will be based on basic grammar and practical communication plus past test materials – reading and listening. The class will provide exercise to help improve students' knowledge of words and phrases for both writing and speaking ability related to Child English.

Organization of the classes:

The content of the class will include:

- Orientation about the Child English known as YOUHO EKEN , study plan and materials plus basic grammar and conversations.
- Introduction of words, phrases and sentences with a particular focus on present perfect tense, passive, causative, so that, too (adj.) to etc.
- Guide and practice of study materials related to specific situations such as:
 - Commuting to school • Attendance • Indoor play
 - Outdoor play • Restroom • lunch • naptime • pickup time

Study materials:

Youho EIKEN Text books for Grade 3 with other related supplementary materials.

Grading:

Grading will be based on the attendance and the participation in the class work and the final examination. Passing of the official test will carry a special certificate in Youho EIKEN English.